

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年8月23日

ニュージーランドは6か月ぶりに感染一人発生のためロックダウン
一方オーストラリアは感染激増

【松崎雑感】

ニュージーランドのワクチン接種率は17%台ですが、ほぼゼロコロナを維持しています。ニュージーランドの対岸のオーストラリアでは、毎日数百人の新規感染者が発生しています(それでも今の日本より二桁少ない数です)。

ニュージーランドの面積は日本の3分の2、人口は500万人(北海道並み)で日本の24分の1、GDPも日本の24分の1ですが、新型コロナはゼロレベルです。

経済力があっても政策がダメなら、パンデミックは抑えられないという好対照です。

ちなみに、昨年のGDPはニュージーランドがマイナス1%に対して、日本はマイナス4%でした。ゼロコロナの方がウイズコロナよりも経済的に高影響をもたらしていたと思います。

ニュージーランドは6か月ぶりに感染一人発生のためロックダウン 一方オーストラリアは感染激増

Dyer O. Covid-19: Australian outbreak surges as New Zealand sees first domestic cases in six months. **BMJ**. 2021 Aug 18;374:n2050. doi: 10.1136/bmj.n2050. PMID: 34407982.

ニュージーランドとオーストラリアの東部は今週ロックダウン中である。

以前この2つの国は、コロナ侵入を防ぐバブル戦略を実行していたが、現在は正反対の状況にある。

ニュージーランドは「ゼロコロナ」を維持しているが、オーストラリアはゼロコロナ戦略をあきらめざるを得なかった。

今回オークランド(ニュージーランド)とシドニー(オーストラリア)が実施したロックダウンは名前が同じだが、その実施理由と期間は大きく異なる。

シドニーの属するニューサウスウェールズ州は8週間ロックダウンをしてきた。

しかし、地域ごとにばらつくパッチワーク的ロックダウンにもかかわらず、デルタ株感染者が毎日数百人発生する結果となり、対策は失敗した。

オーストラリアの現在の流行中心であるニューサウスウェールズ州では、8月18日に633名の市中感染者が確認された。

オーストラリア全体では677名だった。

この数字は、12か月前のオーストラリア第二波中における3番目に多い1日当り感染者数だった。

ニューサウスウェールズ州最高保健責任者ケリー・チャント氏は「この感染者数の増加には言葉を失う。

感染者一人から複数の二次感染が起きている」と語った。

新規感染者はシドニーの南西郊外に集中している。

しかし、内陸の先住民コミュニティ、ダボ地域にもアウトブレイクが発生し始めている。

オーストラリアのほとんどの州は州境を閉鎖している。

根絶する

一方、ニュージーランドでは、スナップ・ロックダウン(急遽ロックダウン)の初日に10名の感染者が見つかった。

この中には教師とワクチン接種の完了した看護師が含まれていた。

これらの患者は遺伝子解析の結果、シドニーのアウトブレイクに由来するウイルスに感染していたことが分かった。

シドニーからニュージーランドに入り込んだルートは不明である。

今回のニュージーランドの突然のロックダウンは、オークランド在住の58才男性がデルタ株に感染していることが分かったために発動された。

ニュージーランドで市中感染として発見されたデルタ株感染の第1例目である。

彼はワクチンの予約をしようとした矢先に発病した。55～60才の人々の予防接種可能日は8月6日に限定されていた。

この男性は、感染を自覚せず、コロマンデルに出かけてしまったために、政府は最も厳しいレベル4のロックダウンを宣言した。

新たに発見された10名の感染者はこの男性の接触者で、社会的活動の多い若者がほとんどだったため、ジャシンダ・アーダーン首相は感染者が増えることを懸念して警戒を呼び掛けた。

8月18日、アーダーン首相はラジオ・ニュージーランドで次のように呼び掛けた。

「ワクチン接種が非常に進んだ国でさえデルタ変異株を十分抑えきれていない。ロックダウンのルールを守り、感染を完全に封じ込めるために必要なことをすべて実行するのが、現在世界最高の感染対策である。この対策は以前も効果的だったが、今後も必ず成功するだろう」

多くの太平洋諸国と同様に感染防止上厳格な国境管理が必要なオーストラリアとニュージーランドだが、ワクチン接種率が低い。

ニュージーランドの接種率はOECD諸国で最低の17.3%であり、全世界平均の23.7%を下回っている。

オーストラリアの接種率は22.5%だが、この数日接種者が急増している。

ファイザーワクチン待ち

オーストラリアは当初アストラゼネカワクチン接種を予定していた。

しかし多くの国民は、アストラゼネカワクチンの血栓症の副作用を心配し、5月に保健相が年内にmRNAワクチンが打てるようになると言明したため、「ファイザーワクチン待ち」状態となってしまった[1]。

政府は当初アストラゼネカワクチンの対象者を60才以上と予定していたが、感染者が激増するため、「すぐファイザーワクチンを接種できない成人」すべてをアストラゼネカワクチンの対象者と決めてしまった[2]。

オーストラリア政府は年内に1千万人分のモデルナmRNAワクチンを手し、ワクチン躊躇率が高いため余剰在庫を持つポーランドから100万人分のファイザーワクチンを緊急輸入する予定である。

このワクチンの半数はシドニーの16～39才の人々に近日中に投与される予定となっている。

オーストラリアは12才以上の感染リスクの高い小児へのファイザーワクチン投与を承認している。

8月18日には、2番目に感染率の高いビクトリア州で、若い人々の間に大きなアウトブレイクが発生したと報道された(246名の感染者のうち9才以下が56名、10才から19才が55名)。

ニューサウスウェールズ州首相グラディス・ベレジクリアン氏は、ワクチン接種率が80%に達しても、1日当り感染者数が40名以下にならないければ、ロックダウンを解除することはできないと述べた。

「感染者数が減らなければ、自由は取り戻せない」と、オーストラリアの新型コロナ対策に関するドハーティ研究所の報告を引用して首相は訴えた[3]。

新型コロナパンデミックの死亡者が26名にとどまっているニュージーランドは、7月22日にオーストラリアとのバブル協定を中断した。

アーダーン首相は、年内のオーストラリアに対する国境再開はないと述べた。

首相は、迅速なロックダウン実行の妥当性を、オーストラリアを引き合いに出してこう述べた。

「対策が遅れると、隣国のような悲惨な結果がもたらされる」